



1 就職内定 嬉しい報告



嬉しさあふれる滝波里紗さんと外岡杏梨さん（左から）

情報技術に精通した人材のニーズが高まっています。本校でも4月から就職内定者が続々と増えています。今回は、株式会社『ソフィア』に内定した滝波里紗さん（水戸南高卒）と外岡杏梨さん（水戸桜ノ牧高卒）です。



Q1 どんなIT技術者を目指しますか？

A1 ○滝波さん「色々な方の生活のサポートができる技術者」
○外岡さん「創造性あふれるIT技術者」

Q2 あなたの趣味や、いま打ち込んでいることは？

A2○滝波さん「お絵描き、3Dモデル作成、システム設計」
○外岡さん「お絵描き、ゲーム、基本情報の勉強」

Q3 本校での学びとその成果は？

A3○滝波さん「努力の大切さ。困難な目標を達成することができた。」
○外岡さん「素直に認めることの大切さを学んだ。自分のミスを確認訂正する力が身についた」

2 みんなの母校訪問！



3つのマスコット登場！

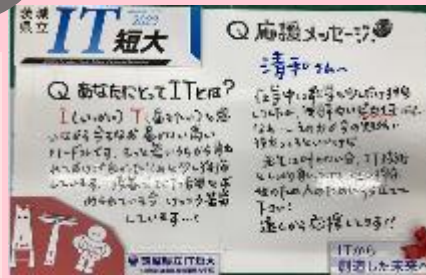
県立茨城東高等学校



菅野学 教諭

齋藤 靖 校長

「夢・希望・自己実現」を学校教育目標にした全日制普通科の高等学校です。齋藤靖校長は「生徒の成長のために力を尽くす学校」と話されていました。進路指導主事の菅野学教諭は「IT技術をしっかり学び、世のため人のために役立てて」との応援を頂きました。



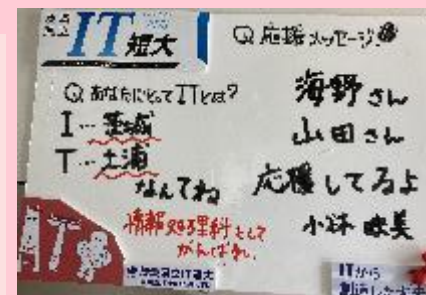
本校舎

県立土浦第三高等学校



小林映美 教諭

普通科と商業科が併設された創立76年の伝統校です。桜並木の坂道を上りつめると正門となり、モダンな校舎が立ち並んでいます。今年、二人の生徒を進学させた小林映美教諭は「基本情報技術者試験、合格目指し頑張ってるね」とエールを送って下さいました。



正門から臨む校舎

3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加え「社会人基礎力」向上のため、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 読売新聞(2022年6月11日)
「水は隕石由来」説 補強
リュウグウ資料分析

◇要約

●中熊柚香さん（水戸二高卒）

日本の探査機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウから地球に持ち帰ってきた砂や石の分析で、リュウグウの形成過程が明らかになっている。この試料の研究が進めば、太陽系の起源の研究にも繋がるだろう。

◇感想

●山田彩乃さん（水戸啓明高卒）

今回の「はやぶさ2」が持ち帰ってきた砂や石は、地球や生命の起源についての研究を大きく進めたといえる。まだ、他にもチームが分析を行っているの、どのような新たな発見があるのか楽しみだ。

●三木悠矢さん（水戸葵陵高卒）

地球の七割を占める海はどこからもたらされたのか。その有力な説として隕石由来説がある。今回の「はやぶさ2」の貢献はその説の裏付けとなり、太陽の起源についても知ることができると大きく期待している。

●清和杏羽さん（茨城東高卒）

宇宙のことについて、まだ、分からないことだらけで、私も宇宙に対して関心がとても高い。知らないことを知るとい興味、勉学を向上させているのだと私は思う。

●山田愛璃さん（土浦第三高卒）

この記事を読んで「はやぶさ2」のような日本の探査機の技術の凄さを改めて感じた。また、46億年も前に誕生した太陽系の形成初期にできたリュウグウの母体によって、水やアミノ酸がもたらされたというのが現在になって発見されたのは凄いなと思う。時代の変化とともに研究技術も発展していると感じた。

